



令和4年度は男女共同参画の成果目標達成に向け、本格的に運動をスタートする年。全国水土里ネットが農林水産省から受託した業務の目的は効果的な全国展開
全国26府県で研修会を行います。土地改良区役職員の皆様の参加をお待ちします

令和4年度第1回有識者委員会開催 テーマ：全国展開に向けた効果的な研修会の開催
9月16日の有識者委員会では研修会に先だって熱い議論が展開されました。

令和4年度有識者委員会委員（敬称略、五十音順）

- 委員長 太田 信介 元農林水産省農村振興局長、前（一社）地域環境資源センター相談役
- 委員 鈴木 紀之 葛西用水路土地改良区参事、葛西・羽生領島中領土地改良区連合所長
- 委員 富山 英幸 栃木県土地改良事業団体連合会事務局長
- 委員 西岡 真帆 清水建設株式会社人事部ダイバーシティ推進室長

農林水産省農村振興局河嶋土地改良企画課長メッセージ

- 土地改良の分野で男女共同参画の成果目標が設定され早2年、女性理事登用の事例が徐々に聞こえてくる一方、登用率は0.6%と変化なく、現場の認知度が未だ低い。
- 男女共同参画は社会において男女が個人として能力を発揮する機会が確保されることを目指すもの。理事のみならず総代や職員を対象に取組を進めることが重要。
- 今年度は26府県で研修会を開催し理解を深めていく。委員には、より効果的な推進方法についてご意見をいただきたい。



委員長

- 男社会の土地改良分野で男女共同参画を進めるには、前例にとらわれず効果を重視することが重要。
- 研修会の役割は、土地改良区が男女共同参画の取組みに着手する重要な契機（トリガー）となること。

委員

- 昨年度委員をやって、初めは「女性理事を登用するメリットを考えなきゃ」と思ったが、終わりには不毛な議論になると思うようになった。女性がいることが普通だし当たり前という認識をまず持たないと、なかなか推進はできないんだろうというふうに思います。又、研修会については、聞くという立場じゃなくて、参加する工夫が必要だろうと思います。
- （個別支援の参考）周囲に反対されたが「候補が見つければ」という約束をとり、結果女性理事が登用できた事例がある。ときに強引さも必要だと思います。
- 女性のために、理事の人数を増やすのではなく、男性のポジションに女性をいれるのが本来だと思います。

ひと口メモ

早め早めの対策を！

成果目標女性理事を10%以上に、最終期限は2025年度です
最新値は0.6%、変わらずでした

項目	目標値 (期限)	計画策定時の 数値	最新値
女性理事が登用 されていない組織数	0 (2025年度)	3,737/3,900 (2016年度)	3,409/3,577 (2020年度)
理事に占める 女性の割合	10% (2025年度)	0.6% (2016年度)	0.6% (2020年度)



第5次男女共同参画基本計画における成果目標の動向（令和4(2022)年4月30日時点）

男女共同参画ポスター配布中